

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	子宮体部癌肉腫についての臨床病理学的検討			
2. 対象患者	2009年10月1日～2020年8月31日までに子宮体部癌肉腫と診断された症例(弘前大学では対象期間の子宮体部癌肉腫の症例は26例)			
3. 対象となる期間	2009年10月1日 ～ 2020年8月31日			
4. 実施診療科等	産科婦人科			
5. 研究責任者	氏名	二神真行	所属	産科婦人科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	弘前大学医学部 産科婦人科学講座 横山良仁			
7. 研究の意義	<p>子宮体部癌肉腫は子宮体部悪性腫瘍の中では稀な疾患で、悪性度の高い腫瘍とされています。予後不良な疾患ですが、症例の少なさから標準治療が確立されていません。</p> <p>今回、当院における子宮体部癌肉腫の症例を検討することで、その疾患の特徴や治療法、予後等についての検討を行いたいと思います。これらの検討により、子宮体部癌肉腫の管理、治療法についての手がかりがつかめると考えています。</p>			
8. 研究の目的	当院における子宮体部癌肉腫症例を検討し、その特徴や治療法、予後について明らかにすることです。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	<p>当院における子宮体部癌肉腫の臨床病理学的特徴を解析します。そのため以下の評価項目について診療録から情報を収集し基礎的な統計を行います。また予後不良な疾患ですが、その特徴の中で予後に差がある場合は、予後良好群、不良群について統計学的手法を用いた比較検討を行います。</p> <p>評価項目 ＜子宮体部癌肉腫の治療情報＞ 1) FIGO進行期 2) 組織型 3) 年齢 4) 身長・体重 5) Performance Status (患者さんの状態) 6) 治療内容(手術・薬剤・放射線治療など) 7) 薬物治療の内容 8) 再発部位 9) 予後(生存率、生存確認日、死亡日含む)</p> <p>＜1次評価項目＞ 子宮体部癌肉腫の特徴についての基礎的な統計、予後</p> <p>＜2次評価項目＞ 予後良好ないし不良群の無再発生存率、5年生存率</p>			
10. 個人情報の保護	<p>対象となるデータについては、カルテから抽出後、個人を特定できないよう加工(匿名化)し、ネットワークに繋がっていないPCに保存し、管理します。</p> <p>また、拒否の申し出があった場合は速やかに当該患者様のデータを削除します。ただし、既に発表してしまった場合は、データの削除、修正には応じられませんので、御了承願います。</p>			
11. 利益相反に関する状況	<p>本研究は産科婦人科学講座の研究費によって公平・公正に実施されます。なお、本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会に届け出ています。</p>			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 産科婦人科学講座 准教授 二神真行			
	電話	0172-39-5107	FAX	0172-37-6842